

基本情報

施設名	わかさと保育園
所在地	横浜市港北区綱島西 6-313
電話番号	045-546-0551
評価年度	平成 29 年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

評価方法

自己評価	
(実施期間) 平成 29 年 6 月 15 日～ 平成 29 年 6 月 30 日	施設長が評価した上で、全職員に回覧し、同意を得ている。
評価調査員による評価	
(実施期間) 平成 29 年 8 月 2 日 平成 29 年 8 月 3 日	評価調査者 2 名が、2 日間を通し、保育園内の視察、保育内容、園児の観察、書類確認及び園長、職員との面接、ヒアリングにより評価を行った。乳児、幼児の食事の観察を行い、保育環境、子どもの遊びの様子及び延長保育の観察を実施した。
利用者家族アンケート	
(実施期間) 平成 29 年 6 月 13 日～ 平成 29 年 7 月 5 日	各世帯に配布した上で、投函にて回収する。
利用者本人調査	
(実施期間) 平成 29 年 8 月 2 日 平成 29 年 8 月 3 日	0 歳～5 歳児対象に 1 日の生活を通して観察を行い、園生活、食事、遊び等を場面観察から考察をまとめた。

第三者評価結果報告書

《総括》	
対象事業所名	わかさと保育園
経営主体(法人等)	社会福祉法人 若里
対象サービス	保育所
事業所住所等	〒223-0053 横浜市港北区綱島西 6-3-13
設立年月日	平成 28 年 4 月 1 日
評価実施期間	平成 29 年 8 月～平成 30 年 1 月
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION
評価項目	横浜市版

総合評価

●わかさと保育園の立地・概要

わかさと保育園は、横浜市営地下鉄グリーンライン「日吉本町」駅から徒歩約 10 分、東急東横線「綱島」駅からは約 15 分であり、東急東横線及び綱島街道から丘 1 つ超えた高田寄りに位置しています。周辺は、横浜市営地下鉄グリーンライン日吉本町駅が開通して交通の利便性が良くなり、大きな綱島公園や一級河川の鶴見川等、市民の憩いの場所として自然の多い環境にも恵まれています。また、慶応義塾大学の附属中学校（中等部、普通部）や、地域ケアプラザ、スーパー、新興の団地等、発展が大きく進み、わかさと保育園の位置する地域も開発が進んでいます。

●わかさと保育園の保育の方針

わかさと保育園は平成 28 年 4 月に設立し、運営母体は社会福祉法人若里（以下、法人）です。法人は、昭和 2 年から福井県大飯郡おおい町で託児所、保育園を運営・実施を行い、80 年以上の歴史と運営実績のある法人です。法人としては横浜への展開は初めてですが、園長は、横浜の法人関連の保育園で経験を有し、都市型の保育園として開設しました。わかさと保育園の保育理念は、「保育に欠ける子どもを心身ともに健やかに保育すること」であり、理念に基づいた保育目標として、「強い子 元気な子」を掲げ、保育方針は「様々な関わりを通して感性を磨き、可能性を伸ばすこと」に置き、日々保育にあたっています。園舎は、マンションの 1 階を活用し、園舎に沿った敷地に園庭を設け、戸外遊具も設置し、日の当たる下で低年齢の子どもたちは元気に遊んでいます。幼児は、思いっきり体が動かして遊べるよう、近隣の公園や文化施設を活用し、伸び伸びと遊ぶ機会を設けています。わかさと保育園では、特徴の 1 つとして、各保育室は必要最小限の広さを確保して効率良

く設備を整え、さらに、限られた空間の中に大きな遊戯室（プレイルーム）を設置してダイナミックに活用しています。遊戯室（プレイルーム）では基本的に異年齢の活動を中心に行い、雨天でも室内で十分身体を動かせる体制を整え、理念、保育目標に沿った保育を実践しています。

《優れている点》

1. マニュアルに基づいた保育

わかさと保育園では、「WAKASATO NURSERY SCHOOLマニュアル」に基づき、保育の実施の標準化を目指しています。マニュアルは全職員に配布し、折に触れて確認し合いながら保育を進めています。マニュアルには理念、方針、目標を明示し、入園説明会の手順・対応、障害児保育の指針・取り組み方、虐待早期発見についてや、コンプライアンス等の規制・法規等に関する事項、人権・男女共同参画社会等の考え方などが広く網羅して整備されています。また、マニュアルに基づいて各項ごとに園内研修を実施し、全職員で再確認及び、共通認識を図っています。特に、保育歴の浅い保育士に対しては短期戦力に導く有効性の高いマニュアルであり、園全体の体制の整備に強化が図られています。

2. 遊戯室（プレイルーム）の活用

わかさと保育園の特徴とする点に、大きな遊戯室（プレイルーム）の設定にあります。限られたスペースに遊戯室（プレイルーム）を設け、異年齢活動の基本的な活用に加え、雨天における室内でも十分に体を動かせることができるようにし、体力増強にも大いに活用する等、ダイナミックな保育を展開しています。遊戯室（プレイルーム）では、4歳、5歳児が体いっぱい、全スペースを使って大きな遊びを行い、2歳、3歳児では一人一人が思いのまま自由に走ったり、友達と伸び伸びと遊び、0歳、1歳児は自分でコントロールできない遊びの中、個々に遊びに関心を向け、大きな子に付いて歩いたり玩具で遊んでいます。遊戯室（プレイルーム）には、コーナーが8の字型や、「×」の記号、四角い形の様々な形態で工夫され、有機的に活用されており、子どもたちは想像逞しく遊んでいます。また、保育士の適切な配置の下、子どもの安全を確保し、異年齢での活動中は上の子どもは下の子に配慮し、保育士は幼児の気持ちに配慮を行う等、遊戯室（プレイルーム）ではバランスよく融合を図った見事な体制が作り上げられています。

3. 重点的な園内研修

わかさと保育園では、園内研修に力を入れ、「WAKASATO NURSERY SCHOOL マニュアル」に基づく研修と共に、大局的テーマを設けて検討を実施し、保育に生かしています。設立2年目に応じたテーマとして、「良い保育園ってどういう保育園？」、「私が作る保育園はこういう感じ！」等、職員一人一人が考え、チームで検討し、年度末にチームで発表を実施する取り組みを行っています。設定テーマでの研修時間の確保については、各チームで自主的に計画をして進めています。検討プロセスを通して、職員各自が新しい園を自分たちで創っていく、という意欲が生まれ、今後の園作りに大きく期待されます。

《さらなる期待がされる点》

1. さらなる職員の質の向上

わかさと保育園では研修に力を入れて質の向上に取り組んでいますが、開園2年目にて職員のレベルは他園に比し急速に成長していることは十分に理解でき、良い保育が行われていました。しかし、わかさと保育園での経験年数において、主たる業務は遂行できると思いますが、突発的な事象への対処には経験値が必要であり、研修および、具体的に全体が見えるスキルを1日も早く身に付けられるよう期待いたします。また、先輩は後輩にノウハウの伝授に努め、園全体で今だからできること、今行うべきことに注力して取り組んでいかれることを期待しております。

横浜市福祉サービス第三者評価結果



わかさと保育園	
評価年度	29年度
結果公表	29年2月
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

領域Ⅰ 利用者本人(子ども本人)の尊重 領域Ⅱ サービスの実施内容 領域Ⅲ 地域支援機能 領域Ⅳ 開かれた運営 領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上 領域Ⅵ 経営管理

評価領域Ⅰ 利用者本人(子ども本人)の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-1 保育方針の共通理解と 保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none">●保育理念は、「保育に欠ける子どもを心身ともに健やかに保育すること」であり、保育方針として「様々な関わりを通して感性を磨き、可能性を伸ばすこと」に置き、保育目標を「強い子 元気な子」を掲げ、日々保育にあたっています。理念等は、園で作成した「WAKASATO NURSERY SCHOOL マニュアル」に記載し、全職員に配布して都度、確認できるようにしています。保護者に対しては、園だよりには必ず保育理念等を掲載し、理解を促しています。●保育課程は子どもの最善の利益を第一義とした保育理念、保育方針に沿って策定しています。保育過程は年度ごとに家庭の状況、地域の実態、周囲の環境を考慮して作成し、職員に配布して問題点の有無を抽出し、問題が無ければ了解のサインを得ています。保護者には入園時や年度始めに保育課程について配布及び説明を行い、改定時も随時、説明しています。●保育課程に基づき、クラスごとに指導計画を作成しています。クラス目標は、日々子どもたちに「今日の保育内容」を説明し、理解を促しています。子どもの意見や意向については、計画に基づいて取り入れ、今なのか、将来的になのかを精査しながら意見を生かすようにしています。園内研修では、「良い保育園とはどういう保育園か?」、「私が作る保育園はこういう感じ」等、テーマを設け、職員間でディスカッションを行い、年度末にはチーム

	<p>で発表する等、研鑽を図っています。保育については、週日案で毎日・毎週、自己反省を行い、日々の保育に生かすよう努めています。</p>
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●入園前に個人面談を実施し、「園児状況連絡票」に面談内容を記録し、保育に活用しています。事前に配付した児童票は記入の上、入園当初に提出してもらっています。個人面談では子どものアレルギーや既往症についても聞き取り、全職員で共有して日々の保育に生かしています。子どもの観察については、入園前面談で子どもと一緒に来園してもらった場合は保育士が子どもの様子を観察し、保護者のみの面談の場合は、短縮保育（慣らし保育）で子どもの様子を観察するようにしています。 ●短縮保育（慣らし保育）を実施し、期間は原則1週間程度を考え、保護者の仕事の都合や家庭の要望を考慮し、柔軟に対応しています。0歳、1歳児の新入園児に対しては、保育士が3人体制で対応するよう配慮しています。在園児については、なるべく担当保育士の持ち上がりに考慮し、年度末には1~2週間の期間、来年度の担任がクラスに入って交流を深める取り組みを行っています。また、園のプレイルーム（遊戯室）では異年齢保育を積極的に行い、クラスを超えて保育士と交流を図る体制があります。保護者への連絡は、全園児が連絡ノートを保有し、乳児は毎日連絡ノートを活用して連絡を密にし、幼児は週1回の割合で、丁寧な連絡を心がけて子どもの様子を伝えるようにしています。 ●指導計画（年間、期ごと、月、週・日7）は、子どもの発達や状況に応じて柔軟に変更、見直しを行い、保育の実践につなげています。指導計画の評価、改訂については、複数の職員が参画して作成しています。保護者の意向、要望等については、日々の会話や個人面談等を通して抽出し、施設長が判断の上、必要に応じて指導計画に反映させるようにしています。離乳食やトイレトレーニング等に関しては、保護者と個別対応で行っています。
<p>I-3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●施設環境について、衛生管理表に沿って毎日、全職員で保育室の清掃を行い、清潔を保っています。園舎は、24時間強制換気装置を設備し、併せて午睡明け等に自然換気にも配慮しています。各保育室は東向きに設けられ、朝は陽光が注ぎ込み、明るさを確保し、温湿度計を備えて設定温度・湿度を定め、常に快適に過ごせるよう配慮しています。音、声に関しては、園舎は大きな

	<p>道路に面しており、近隣からの苦情はありませんが、保育者の大きな声は控えるよう心がけ、保育中の音・声にも配慮に努めています。また、園庭での遊びでは、幼児が伸び伸びと遊べるよう近隣の公園等へ出かけ、保育にメリハリをつけています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●沐浴設備を備え、室内外にも温水シャワーを設置し、プールや水遊びの前後で使用して子どもの清潔を心がけています。設備ごとにチェック表を備え、表に沿って掃除・消毒を行い、衛生管理に努めています。 ●低年齢児の保育室は、パーテーションや柵で仕切り、活動に合わせて小集団保育が行えるよう工夫しています。また、寝食は区別して衛生に配慮しています。異年齢での交流は、園では大きなプレイルーム（遊戯室）を設け、異年齢で遊べる遊具を備えて交流の場とし、プレイルーム（遊戯室）での異年齢の活動がわかさと保育園の大きな特徴の1つになっています。
<p>I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●3歳未満の子ども一人一人に個別指導計画を作成しています。また、現在は対象となる幼児はいませんが、特別な支援が必要な子どもに対しては、認可保育園として行うべき項目（個別指導計画等）については実施する体制でいます。個別の目標・計画は、定期的に見直しを図り、子どもの発達状況に合わせて柔軟に変更、見直しを行っています。個別指導計画の重要部分（離乳食等）については保護者と話し合いの上、連携して実施しています。 ●子どもの個別の状況、成長状況の記録は、健康台帳等に記録し、全職員で共有を図り、記録内容は書庫に保管しています。重要な申し送り事項は記録し、進級時に職員間で申し送りを行っています。保育所児童保育要録は作成し、就学先の小学校に送付しています。
<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●園では、障害児を持つ子どもの受け入れを示し、特にボーダーラインで配慮を要する子どものケースについて配慮しています。毎日の職員間の打ち合わせにおいて、子どもの状況を細かく報告し合い、どの職員もが対応できるように努めています。 ●障害児保育のための環境整備では、床はバリアフリーにして環境を整えています。障害児保育については、専用のフォーマットを用意し、園内研修で障害児の受け入れを想定して他の子どもとのかかわりについて話し合っています。また、外部研修を受講し、知識と対応技術の研鑽を図っています。専門機関との連携では、横浜市総合リハビリテーションセンターから定期巡回を受けて

います。

●虐待の定義については、WAKASATO NURSERY SCHOOL マニュアルに明示し、年1回以上、全職員に対して研修を行い、確認しています。職員は、朝の受け入れ時や着替えの際に視診を心がけ、保護者、子どもの生活環境の変化を把握するように努めています。疑わしいと思われる場合は、速やかに園長に報告する体制を整え、必要に応じて港北区役所保健センターの保健師や横浜市北部児童相談所と相談ができるよう連携を図っています。家庭支援の必要な保護者については、職員が声を掛けるよう心がけています。また、子育て相談等で親子の様子から力が必要と感じられた場合は、園として対処できる姿勢で対応に努めています。

●アレルギー疾患のある子どもについては、医師の診断によるアレルギー源が特定された上で、アレルギー除去食対応を行っています。職員に対して、アレルギー疾患についての必要な知識や情報は、WAKASATO NURSERY SCHOOL マニュアルに沿って研修を行い、知識を深めています。給食時は、除去食の専用トレイに名札、アレルギーの食札を用意し、別テーブルで食事するように配慮を行い、誤飲誤食防止を徹底しています。

●文化が異なる子どもへの対応については、今年度は外国籍に係る保護者・子どもは在園していませんが、生活習慣等を理解し、文化や考え方の違いを尊重しています。また、帰国子女について、日本語がわからない子どもに対しては、絵カード等を活用して意思疎通を図るように工夫し、日本語が理解できるようにも促しています。

I - 6 苦情解決体制



●保護者からの苦情に関して、入園案内に苦情や要望に対する解決体制、苦情の窓口、苦情責任者、公的機関の窓口を明示し、保護者に説明を行い、第三者委員に直接苦情を申し立てることができることも知らせています。保護者からの要望や意見は、意見箱を設置し、懇談会等では積極的に意見や要望を聞く機会を設けています。また、全クラスにノートを備え、保護者が意見、要望、苦情等を書き込めるようにし、利用者満足に取り組んでいます。保護者からの疑問等に対しては、保育士が気付くように心がけ、個人面談の機会を設定するように努めています。園長、主任は、保護者と週1回以上、会話に努め、問題・課題点を顕在化するように努めています。

	<p>●苦情、要望については、WAKASATO NURSERY SCHOOL マニュアルに苦情対応マニュアルを整備し、第三者委員を交えて解決する体制を整えています。地域の民生委員とは、園の第三者委員でもあり、常に意見交換を図る体制を構築しています。苦情等があった場合は、職員会議等で周知し、園のホームページにも「苦情対応記録表」を開示して保護者に経過報告を行っています。記録表は保管および蓄積し、今後の園運営に生かしています。</p>
--	---

評価領域 II サービスの実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>II-1 保育内容 [遊び]</p> 	<p>●玩具等は、各保育室に玩具棚を設け、子どもが自由に取り出して遊べるようにしています。園では、保育室で落ち着いて遊べる玩具や、プレイルーム(遊戯室)にも各年齢共通の玩具を備え、クラスを超えて自由に遊べるようにしている点はわかさと保育園の特色です。子ども一人一人が好きなことをして遊ぶ自由遊びの時間を十分に確保し、設定保育での時間の遊び等、バランスを図りながら保育にあたっています。</p> <p>●子どもの遊びに関して園では、職員が課題とする活動の狙いを明確に据え、子ども同士の人間関係が積み重ねられるよう、描く子どもの姿への実現に向けて、一斉保育・自由保育の組み合わせを考えて保育を進めています。一斉保育では、約束ごとやルールの大切さを話し、ルールを守って遊ぶ楽しさを伝えていきます。</p> <p>●栽培では、園庭のプランターで花を育て、年長児が当番を決めて水やりを行い、大切に育てています。飼育は、戸外活動や散歩時に捕った昆虫を園で飼育し、成長を観察しています。散歩や戸外活動を通して、職員は率先して地域の人に挨拶を行い、公園では他園の園児や地域の人々と交流を多く持つようにしています。</p> <p>●自由に自分の気持ちを表現できるよう、子どもの発達に応じてリトミックを保育に取り入れ、朝の会や夕の会では保育士が弾くグランドピアノに合わせて全員で歌を合唱したり、音楽に合わせて体で表現する遊びを楽しんでいます。また、年齢に応じた素材や、自由画帳、粘土、ぬり絵、色鉛筆、クレヨン等を用意し、子どもが自由に表現できるよう支援しています。</p> <p>●子ども同士のケンカについては、保育士は様子をケガに留意しながら見守り、子ども同士で解決ができるよう援助しています。</p>

異年齢の子ども同士のかかわりでは、プレイルーム（遊戯室）を最大限活用し、異年齢でそれぞれがのびのびと遊べるよう配慮し、自然な形で異年齢で交流する機会を設けています。職員は、定期的に自己評価を行い、自己の保育を振り返る機会を設け、日々の保育に生かしています。

●健康増進について、週3回、天候に応じて散歩に出かけ、夏季は気温が30℃を超える場合は涼しい朝夕の時間帯に外に出て体を動かしています。3歳～5歳児については週2回、専門講師によるスポーツタイムを実施して運動遊びを行い、体力作りを行っています。子どもの健康状態は、その日の登園の健康状態を把握し、既往歴に配慮して遊びを選択する等、個別に対応しています。

II-1 保育内容 [生活]



●食事については、子どもの食事テーブルに保育士が付き、楽しい雰囲気です。盛り付けは、カロリー計算に基づいて子どもが食べられる一定量を配食していますが、苦手な食材については無理強いをせず、保育士が声かけをしながら完食ができるよう支援しています。食べ残しをした場合はおやつ等で補完するようにしています。乳児では、授乳は授乳間隔に配慮して、家庭と密に連携しながら進め、離乳食については子どものペースを大切にしながら進め、自分から食べたいという意欲や行動を尊重しています。

●食事までの過程に関心が持てるよう、献立に合わせて3色食品群の話しをして食の関心を促し、食事の際は三食食べを話し、食事への興味、マナーを伝えています。献立は、季節感のある食材を取り入れ、食材は地元から仕入れて提供し、行事食や誕生会などでの特別メニューは子どもたちの楽しみとなっています。食器は安全を考慮してメラミン製を使用し、食具は年齢、用途に応じて数種類揃えています。2歳児以下は、ワンプレートの食器を使用しています。

●子どもの喫食状況は、毎日、残食量を記録し、喫食状況を保育士と栄養士で確認し、子どもの好き嫌いも考慮した献立の改善点や、盛り付け、調理法などの改善に努めています。また、栄養士はできるだけ各クラスを巡回するようにし、子どもの様子を観察して献立に役立てています。

●献立表は、保護者に次月の献立表を事前に配布し、献立表にはその月の献立作成のポイントや、旬の食材を紹介し、保護者が毎日の献立に興味を持てるよう工夫しています。レシピは要望があ

れば提供しています。保育参観時や行事時（園祭り）に調理室見学に併せて試食会を行っています。

●午睡については、寝食を区別して落ち着いて眠れるよう工夫しています。1歳、2歳児は寝食を合同で行い、食事は2歳児の保育室で摂り、午睡は1歳児の保育室で行っています。3歳、4歳児はプレイルーム（遊戯室）で一緒に午睡をし、午睡時は、室内の採光に配慮して心地良く眠れるよう環境を整えています。

SIDSの予防では、0歳、1歳児は5分ごとにブレスチェックを行い、2歳児は保育士が傍につき、見守りをしています。5歳児は、4月1日から午睡をなくし、生活リズムが体に馴染むように実施しています。また、子ども自身が午睡を行っていない時期が言えるよう自覚も促しています。

●トイレトレーニングについては、WAKASATO NURSERY SCHOOL マニュアルに進め方、対応の仕方等を明示し、個人差を尊重し、個々のリズムを把握して進めています。トレーニング中の排泄状況は、職員間で共有し、保護者にも伝え、家庭でのトレーニングも促しています。お漏らしをした際は、子どもの羞恥心に配慮するよう心掛け、シャワーを活用する等、気持ち良く過ごせるようにしています。

II-2 健康管理・衛生管理・ 安全管理 [健康管理]



●健康管理では、WAKASATO NURSERY SCHOOL マニュアルの中に詳細に記載され、入園時の児童票の情報は個別ファイルに綴じ、全職員で子どもの既往症を把握し、保護者と連携を図るようにしています。日常の子どもの健康状態は、保育士が常に観察に努め、送迎時に保護者に伝え、園で具合が悪かった子どもについては帰宅後、家庭での様子を報告してもらうようお願いしています。歯磨きについては、3歳児以上に歯磨き指導を実施し、昼食後は歯磨きを行っています。家庭でも歯磨きの実施を啓蒙しています。

●内科健診（年2回）、歯科健診（年1回）は事前に予定表に明示して保護者に配布し、健診結果は児童票に記録し、健診の結果は速やかに保護者に伝えていきます。かかりつけ医との連携については、保護者経由で行い、都度、連絡を受けるようにしています。歯科指導では歯科医から指導を受けた保育士が指導を行っています。

●感染症等について、WAKASATO NURSERY SCHOOL マニュアルの中に感染症に関するマニュアルを備え、登園停止基準

	<p>や保育中に感染症等の疑いが生じた場合の対応は、入園の手引きに詳細に記載し、保護者に説明しています。保育中に発症した場合は、37.5℃を目安に保護者に連絡し、脱水状態にならないよう対応しています。感染症（アデノウィルス、手足口病、インフルエンザ、プール熱等）が発生した場合は、迅速に玄関に掲示をして周知を図り、園内での感染症蔓延に注意し、注意喚起を行っています。地域や最新の感染症情報は、行政から入手し、職員間で情報を共有し、保護者にも啓蒙しています。</p>
<p>II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<p>●衛生管理について、WAKASATO NURSERY SCHOOL マニュアルに記載し、衛生管理担当を主任とし、職員がいつでも確認できるようにしています。また、定期的に職員参加の下、見直しを行い、それに沿って研修も実施しています。清掃は、清掃方法のマニュアルに沿って毎日、職員で実施し、清掃・衛生管理に努めています。</p>
<p>II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<p>●安全管理では、家具、収納棚は備え付けになっており、他は低い家具を採用し、備品等は安全対策を講じています。保育室の設備は、靴など子どもが片づけやすいよう設置されています。緊急時対応では、マニュアルを整備し、職員に周知しています。毎月、様々な想定避難訓練を実施し、地震発生時の避難方法、職員の役割分担の配置、給湯室での火災発生等、具体的に条件を想定して訓練を実践しています。全職員は、普通救命救急法講習を受講し、緊急時に備えています。</p> <p>●救急機関、医療機関の連絡先は、一覧のリストを整え、近くの交番とも連携を図り、緊急連絡体制を整えています。保育中のケガ等については、ケガ情報報告書に記録し、職員会議等で周知を図り、再発防止に努めています。ケガが生じた場合は、保護者に対して個別に丁寧に対応しています。</p> <p>●外部からの侵入に対して、対応マニュアルを整え、年1回、不審者侵入を想定して不審者対応訓練を実施しています。園舎の玄関はオートロックになっており、安全を確保しています。不審者情報は、横浜市、港北区役所等からメールで入手し、情報を得ています。保護者への連絡はツイッターでもお知らせしています。</p>

II-3 人権の尊重



●人権の尊重は、保育、保育士の基本と心得、WAKASATO NURSERY SCHOOL マニュアルに明示し、職員に周知徹底を行っています。園長は、子どもとのかかわりについて、職員の言葉遣い、穏やかな会話、子どもの発言を受け入れる、人格を尊重することを指導しています。また、子どもの呼び方や叱り方、かかわり方等を確認し合い、全職員で共通認識を図っています。

●友達や保育士の視線を意識せず、1対1で話せる場所としてはプレイルーム（遊戯室）、廊下、事務室があり、必要に応じて子どもと落ち着いて話す場として活用し、空間に威圧感を与えないように配慮しています。日常保育の場面では、コーナー等で子どもが落ち着いて遊べる空間作りを行い、保育士の視線を感じないように配慮しています。

●個人情報の取り扱いや守秘義務については、全職員に周知し、共通意識の上、保育にあたっています。保護者に対しては、年度初めに重要事項説明書を読み上げ、個人情報の取り扱い（肖像権等）の確認を行い、同意のサインを得ています。個人情報が記載されている文書・記録は、施錠できる棚に保管、管理し、外部への持ち出しを禁止しています。

●性差に関する配慮では、遊びや行事の役割、持ち物や服装での区別、順番、グループ分けや整列も性別で区分けすることはせず、父親・母親の役割を固定的に捉えた話し方や表現はしていません。また、無意識に性差による固定観念で保育をしないよう互いに注意しています。WAKASATO NURSERY SCHOOL マニュアルには、男女共同参画社会について記載され、職員は意識を高めています。

II-4 保護者との交流・連携




●基本方針・保育目標は、園のしおり、パンフレット、ホームページに掲載して伝え、保護者に対しては年度の始めに、入園案内に沿って説明しています。また、クラスだより、園だよりも園の基本方針を伝え、懇談会の場や、日常保育を通して保育方針等が理解されるよう努めています。

●園生活での様子や活動内容は、連絡ノートを活用して伝え、その日の子どもの様子は主に、お迎え時に口頭で伝えていきます。保護者との連絡、伝達事項は、職員間で情報を共有し、連絡ノートで情報交換を行っています。

●個人面談は定期的に全保護者に実施し、保護者懇談会も行い、意向等を把握しています。必要に応じて、直接声をかけて話すケー

	<p>スもあります。保護者の相談については、事務室または空いている保育室を使用し、プライバシーを確保できるように配慮しています。相談は担当保育士が対応し、最終的に園長が対応するように体制を整えています。相談内容は記録し、その後もフォローするように配慮しています。</p> <p>●園生活に関する情報は、定期的に園だより、クラスだよりを発行し、その日の保育については連絡ノート、玄関に各クラスの保育内容を掲示して知らせています。日常の活動は保育参観等で把握してもらうよう勧め、年1回、日々の子どもの写真を撮り溜めたものを思い出として配付し、園生活の様子を伝えています。行事の際の集合写真は、保護者に配付しています。</p> <p>●保護者の保育参加・参観については、年間行事予定表を配布し、保護者が予定を立てやすいように配慮しています。保育参加・参観は随時、受け付けています。懇談会に出席できなかった保護者に対しては、資料を配付していつでもフォローできる体制を整えています。</p> <p>●保護者の自主的組織は現状、保護者から希望や要請を受けていないので設けていません。園長、保育士は、保護者とのコミュニケーションに努め、意見交換がしやすい雰囲気作りを心がけています。</p>
--	--

評価領域 III 地域支援機能評価領域

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>III-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<p>●地域住民との交流では、港北区主催の「わくわく広場」に参加し、地域のニーズを把握するようにしています。また、地域の他保育園と交流を図り、地域のニーズ等を検討する機会を設けています。</p> <p>●地域の子育て支援では、園庭開放、年間限定保育児童を受け入れ、一時保育を実施し、利用日時等を案内しています。子育て支援事業は、港北区の広報誌に掲載し、園舎開放(プレイルーム(遊戯室))も案内しています。地域住民に向けた子育てに関する講習、研修会については、現状、実施していませんが、今後の取り組みとして望まれます。</p>

Ⅲ-2 保育園の専門性を活かした相談機能



●地域住民に対する園の情報提供では、港北区の子育て情報サイト、広報よこはま港北区版等に掲載して情報提供しています。相談事業については港北区の広報誌や、園のホームページに子育て相談、園の紹介を掲載し、育児相談を週1回、木曜日に定めて（予約制）発信しています。

●関係機関・団体等の連絡先リストを作成し、職員で共有できるように設置しています。関係機関（港北区こども家庭支援課・港北区の保健師・ケースワーカー・横浜市総合リハビリテーションセンター・児童相談所・病院等）とは連携を図り、港北区の保健師やケースワーカーとは相談・助言を得られる関係を構築しています。

評価領域 IV 開かれた運営

評価分類



評価の理由(コメント)

IV-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ






●地域への園の理解促進のための取り組みとしては、近隣の住宅、マンション等へ挨拶や園の案内をポスティングして取り組んでいます。地域との交流では、運動会等で北綱島小学校の体育館を借用するなど交流が始まり、園舎開放（プレイルーム（遊戯室））では毎週2回、バレー教室を実施し、在園児に加えて近隣の子ども、学生を招いて交流を深め、備品の貸し出しも行っています。園では、地域との積極的な交流、町内会への加入等も含め、現状の園内の体制を強化して整えることを優先し、その後の課題として検討しています。また、地域の防災訓練への参加も視野に入れて今後の取り組みに期待されます。

●子どもと地域との交流では、近隣の団地内の公園の使用許可を得て散歩等に活用し、地域の人々や子どもと挨拶を交わし、交流を図っています。地域の行事等のチラシを園内に掲示して行事に参加し、近隣の保育園との活動や小学校の行事についても参加して交流する機会を設けています。子どもたちへは、お泊り保育を実施し、遊びと生活を併せて体験する機会を通して地域に触れています。

<p>IV-2 サービス内容等に関する 情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●園のサービス内容・保育方針などの情報提供は、園のホームページやパンフレット、港北区の広報誌に園の詳細を掲載し、横浜市の「ヨコハマはびねすぽっと」にも情報を提供しています。園のパンフレットは港北区役所に設置して紹介しています。見学者や来園者には保育内容を記載したパンフレットを配付して説明しています。 ●利用希望者からの電話問い合わせ等については、丁寧な対応に努め、園見学を案内しています。園の見学は火曜日と定めていますが、見学者の都合に合わせて柔軟な対応に努めています。わかさと保育園の見学希望者は多く、秋の時期には1日10人以下にする等、見学者にもゆったりした中で園内を見てもらえるようにしています。
<p>IV-3 ボランティア・ 実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアの受け入れは、マニュアルを整え、受け入れ担当者を定め、園の保育内容を説明できるように準備しています。現状、実績はありませんが、今後、協力体制作りを整えていく考えでいます。 ●実習生の受け入れでは、マニュアルを整備し、実習の前、期間中、終了日の設定等、園運営の参考につなげられるよう、準備を整えています。現状、実習生の受け入れ実績はありません。園内の体制が整い、今後の取り組みに期待されます。

評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●必要な人材の採用については、園独自で行い、関連の保育園との人的交流も併せて人材確保に努めています。人材育成については、園内研修に力を入れ、研修テーマを決めて職員一人一人が「考える」研修を行い、職員・園全体で園作りに取り組み、スキルの向上、体質改善を図っています。 ●職員、非常勤職員の研修体制については、園内研修を実施し、非常勤職員も含めてグループに分けて取り組み、全職員共通で学ぶ機会を設けています。また、保育体験に参加を促し、参加後は会議等で報告し、全職員で知識を共有し、保育に生かしています。外部研修では、各職員から希望を募り、職員に不足する分野の研修にも参加を促し、知識・技術を身に付けるようにしています。また、職位にかかわる有効な研修は該当者を指名して受講を促し

	<p>ています。研修受講後はレポートを提出し、会議で共有化を図り、保育の実践につなげ、資質向上に努めています。</p> <p>●非常勤職員の配置や業務内容については、必ず正規職員を1名配置して組み合わせを考慮しています。非常勤職員も園内研修、時間内での外部研修に参加してもらい、園全体の質の向上に努めています。非常勤職員の指導については、乳・幼児主任があたり、責任の下、コミュニケーションを図りながら円滑に保育を進めています。</p>
<p>V-2 職員の技術の向上</p> 	<p>●毎月、会議等の中で職員個々の保育を振り返り、毎月の研修テーマに沿って研鑽を図り、改善につなげています。職員の技術指導については、法人本部から子どもの指導方法について講師が来園して勉強会を行い、外部の指導では関連保育園の歯科衛生士から子どもの成長にかかわる歯科指導を受けています。</p> <p>●職員の自己評価は、園の自己評価表を活用して行い、日々の保育日誌でも子どもの活動内容、子どもの育ちや意欲、取り組む過程等を大切に保育の振り返りを詳細に実施して業務改善につなげています。園全体の振り返りは年間指導計画、月間指導計画で評価と反省を行っています。</p> <p>●保育所の自己評価については、保育所の理念や保育の方針、保育課程を基に、職員の自己評価表に沿い、クラス会議で日誌を中心に課題等を話し合い、保育に生かすようにしています。今年度、第三者評価を受審し、園の課題、改善に向けて取り組んでいきます。</p>
<p>V-3 職員のモチベーション維持</p> 	<p>●園では、職員の経験年数、能力や習熟度に応じて人事、人材計画を策定しています。役割分担表は、資格に応じた業務ができるよう配慮して作成し、職員から要望があれば、検討の上、改善を図っています。また、園に委員会システムを設け、職員は必ず1つ以上の委員会メンバーに参加し、より良い園作りに努めています。園長は、3ヶ月に1回、職員面接を実施し、管理職が指導できる体制の構築を目指し、一般保育士から相談が受けられる管理職としての育成に尽力しています。</p>

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●職員の守るべき法・規範・倫理等は、マニュアル、就業規則に明示され、職員は守るべき倫理を遵守しています。経営、運営状況等の情報は、玄関に一部開示して周知しています。リスクマネジメントについては、会議等で他施設の事故事例等について議題に取り上げて周知し、守るべき規範について再確認しています。 ●環境整備では、横浜市の3R夢(スリム)政策に沿って、ゴミの分別、電気はLED化にして節電を心がけ、園庭のプランターで花の栽培や植栽により緑化促進を行っています。ゴミは産業廃棄物事業者を利用して適切に処理をしています。園では、ゴミに関するコンプライアンスを定め、園庭の植栽を進め、園全体で環境への取り組みを行っています。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●理念・基本方針はマニュアルに明文化し、園内に掲示して周知しています。職員に対しては、年度の始めに理念、基本方針について話し、理解を確認し、意識統一に努めています。 ●園の運営上、重要な意思決定の場合については、マニュアルの規定に則り、保護者懇談会を開催して目的・決定(変更)理由、経過等を説明しています。クラス編成の大幅な変更の際も保護者に説明し、理解・協力を促しています。通常の変更等に係わる決定については、文書や園だより等で伝え、必要に応じて直接、保護者に伝えるよう配慮しています。職員に対しては、専門職員も交えた職員会議で園長が説明しています。園長は、保護者から意見が言いやすいよう雰囲気作りを心掛け、より良い園作りに尽力しています。利用者アンケートからも評価を得ています。 ●園では、スーパーバイズができる主任クラスの育成に努め、人材育成計画に沿ったプログラムを作成しています。主任および主任クラスは、職員の業務状況を把握し、個々の精神面、肉體面に配慮して、職員一人一人の能力や経験に応じて助言や指導を行い、円滑な業務に向けて尽力しています。
<p>VI-3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業運営面に影響のある情報に関しては、港北区の園長会議で情報収集を行い、社会福祉法人日本保育協会からも保育業界の動向等の情報を入手しています。また、横浜市、区役所の研修会や説明会からも情報を得て、園内の主任会議で、得た情報・課題を提示し、検討を行い、必要に応じて職員に周知して共有していま

す。園長は、職員に対して外部環境に対する情報のアンテナを張るよう啓蒙しています。

●中・長期的計画は法人本部で策定し、わかさと保育園の運営については園長に一任され、組織運営、事業拡大に備え、運営やサービスプロセスの新たな仕組みを検討しています。外部の機関や専門家等のアドバイスでは、運動の専門講師や、社会福祉法人日本保育協会から指導を受け、より良い園運営に生かしています。

わかさと保育園

(株)R-CORPORATION

*観察調査日	平成29年8月2日・3日
*保育観察	保育園を調査員2名で全園児の観察を行いました。調査当日は、朝の会を見学し、活動を通して子ども達の姿を観察し、保育士の関わり方、生活の様子の観察を行いました。各年齢については調査当日の活動の観察を通してそれぞれの特徴を捉えて記しています。

■0歳～5歳の子どもの様子・保育の様子

<朝のはじまり～朝の会>

●園には大きな遊技室があり、朝8:30頃から1歳～5歳児が遊技室（プレイルーム）で遊んでいます。0歳児も保育士と一緒に遊ぶ姿も見られます。遊戯室（プレイルーム）では、幼児は体を動かしてダイナミックに遊び、小さい子は覚束ない足取りで歩き回る子ども等、見ているとハラハラしますが、子どもたちは他の子どもの動きを見ながら空間を立体的に遊んでいました。走り回っている子や、玩具を出して遊んでいる子、上の子に付いて歩く子等、保育士に見守られながら伸び伸びと遊んでいました。

9時前、朝の会の始まりが近くなると、保育士が「片付けましょう」と子どもたちに声をかけ、なかなか片付けに入らない様子にまた、「片付けますよ～！」と再度、声かけが入り、子どもたちは少しずつ片付け始め、玩具の取り合いに泣いている子どもには保育士が仲介に入り、「仲良く一緒に片づけようね」と促す等、喧騒の中、少しずつ玩具箱の中にそれぞれの玩具が入って行きました。9時になると朝の会が始まり、保育士の弾くグランドピアノの音が響きます。ピアノの音に合わせて子どもたちが手をつなぎ、輪になり、「みんなで手をつなごう！」と保育士が発声すると、だんだん子どもたちの輪が大きくなりました。みんな輪ができたところで、保育士が「おはようございます！」と子どもたちに挨拶をすると、子どもたちも元気に大きな声で「おはようございます！！」と返します。続いて、保育士が異年齢グループの「くじら組」に「いま何時？」と時間を聞くと、子どもは「今くじら（9時）」と答え、笑い声が上がりました。ピアノの伴奏が始まり、全員で「働く車」を元気よく歌い、大きな声を出して歌う子どもや、歌の最中にピアノの下にもぐり込む子どももいて、保育士が「みんなのところに行こう」と言いながら連れ戻す等、賑やかに楽しく朝の会から1日が始まりました。

<0 歳児>

●0 歳児の午睡は 11：30 頃から始まり、保育室にロッキングチェアや、布団、ベビーサークルが用意され、布団に 3 人、ロッキングチェアには 3 人が眠り、静かな環境で午睡を行っていました。なかなか寝付けない子どももいて、寝ている子をのぞき込んだりしていましたが、眠れない子どもには保育士が傍に付いて背中をとんとんしてもらいながら眠りについていました。

<1 歳児、2 歳児>

●1 歳児、2 歳児の午睡では、1 歳児の保育室で 1 歳児と 2 歳児と一緒に午睡を行っていました。園では、1 歳児、2 歳児の在園児に加え、年間限定保育の子ども（1 歳児 5 人、2 歳児 1 人）が来園し、大人数で 1 歳児の保育室で午睡をとりますが、子どもたちはそれぞれの布団に行き、保育士に「寝ましようね～」と促されながら静かに午睡の時間を過ごし、眠っていました。

<3 歳児、4 歳児>

●給食では、3 歳児の保育室で調査員も一緒に食事をいただきました。食事の前に全員で食事の歌を歌い、「いただきます」を言ってから食事を行いました。保育士から食事時間の予定（30 分）を子どもたちに伝え、テーブルで静かに食事を摂っています。調査員も一緒なのでいつもと違う雰囲気子どもたちに少し緊張感も見られ、ちらちら見ながら食事を摂っていました。保育士から今日は静かな食事風景ですと聞き、普段はもっとおしゃべりをしながら食事を行っているようです。給食の量は子どもが食べられる量が盛られ、半分以上の子どもは 15 分以内で食べ終わりましたが、時間がかかる子どもも数名いましたが、保育士に「ゆっくりでいいよ」と見守られ、がんばって完食し、残したのは 1 人だけでした。食後は、午睡時間までそれぞれで遊び、表情はお腹もいっぱいになり、元気に喜び溢れていました。トイレにも行かず没頭して遊ぶ子どもや、中にはトイレが間に合わない子どももいるくらい、遊びに集中していました。3 歳児は 4 歳児と一緒に遊戯室（プレイルーム）で午睡を行い、ゆったりとした中で心地良く午睡をしていました。寝付けない子どもは、保育士に言って 5 歳児の保育室で静かに遊んでいました。

<5 歳児>

●5 歳児とは、2 日目に 3 歳児と一緒に異年齢でのお散歩に同行しました。気温がしのぎやすい日であり、散歩先は、近くの公団住宅の中にある公園に出かけました。公団住宅の公園まで園から 10 分程度、保育士と手をつなぎ、調査員も 1 組（2 人）と手をつなぎ、道行く草花や景色に「あっ、こんなのがあった」、「ここにも」と発見をしながら楽しく歩きました。普段の広場のある公園で走り回る戸外活動から、今日は遊具のある公園での遊びに、子どもたちは楽しさいっぱい、元気いっぱい遊びました。すべり台を中心にドームやトンネルがあり、潜っ

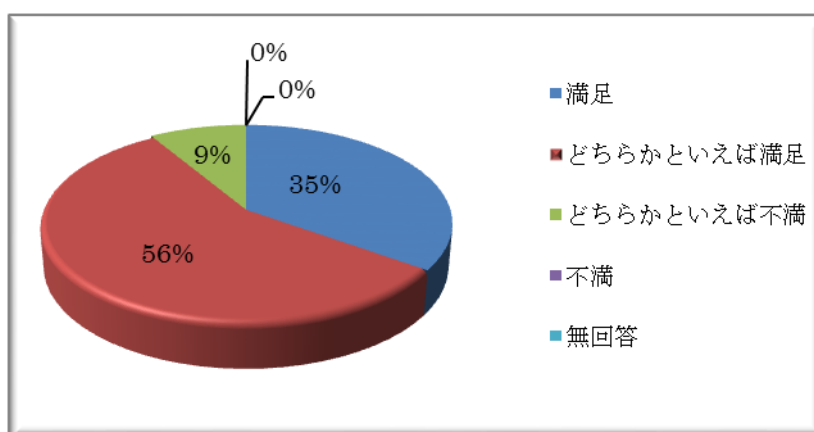
たり、すべり台を滑り降りして、友だちと「順番ね」と言いながら伸び伸びと遊んでいました。公園から帰り道、てんとう虫を見つけた子どもが、小さなてんとう虫を手へのせ、「動かないよ」、「死んでいるの?」と言い、10人くらいの子どもたちでのぞき込んで心配そうに興味深く見ていました。子どもたちは虫を見つけ、掴まえて遊ぶ中、赤トンボが飛んでいるのを見つけ、「わぁ〜」と言いながら目で追いかけていました。周辺環境を生かした五感の育みは、子どもたちの喜びの声に表れていました。

【わかさと保育園 利用者アンケートの特徴】

実施年度 / 評価項目手法	29年度 / 横浜市版
アンケート調査対象	利用者家族 配布世帯数（世帯数 50）
有効回答数	23 世帯
世帯総数に対する回答者割合（%）	46%

0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
5 世帯	5 世帯	5 世帯	4 世帯	3 世帯	1 世帯

* 回答があった利用者満足度の内訳（%）



●利用者アンケートの特徴として、総体的に『満足』については 50%以下が目立ちますが、『満足』と『どちらかといえば満足』を合わせて（以下、「ほぼ満足」という）見ると、「見学の受け入れ」について以外は全て 60%以上「ほぼ満足」を示しています。『満足』において特に、高い項目では「給食の献立内容」についてであり、『満足』は 78%を得ています。また、「お子さんの体調への気配り」については、70%の『満足』を示しています。さらに、「年間の保育や行事についての説明」、「クラスの活動や遊びについて」、「園の行事の開催日や時間帯への配慮」等では『満足』は 61%という結果を得ています。「ほぼ満足」での高い項目では、『満足』でも高い%を示していた「園の行事の開催日や時間帯への配慮」についてが、満足 61%、どちらかといえば満足 35%、不満 4%（1名）にて、「ほぼ満足」は 96%となっています。「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか」についてでも、満足 48%、どちらかといえば満足 48%、その他 4%にて「ほぼ満足」は 96%を得ています。また、「遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているか」については、満足 48%、どちらかといえば満足 43%、どちらかといえば不満 4%、その他 4%にて「ほぼ満足」は 92%を得ています。

●アンケートの自由記述からは、提案や要望が比較的多く目立ちますが、いつも良くしてもらい感謝をしているという声も多くいただいています。また、子どもも楽しく園に通い、子どもの大きな成長は先生（保育士）や友達のお陰です等、満足と喜びの声が挙がっています。また、手厚い保育、保護者の負担への配慮がある点等も園の魅力とした意見が挙がっています。

●『不満』および、比較的『満足』が低い項目では、「送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明」についてであり、満足 22%、どちらかといえば満足 39%、どちらかといえば不満は 26%、不満 13% という結果になっています。ほぼ満足は 61%、どちらかといえば不満、不満を合わせて（以下、「おおむね不満」という）は 39%を示しています。『不満』が高かった項目では、「入園前の見学や説明等、園からの情報」についてであり、不満は 17%、満足についても 22%という結果になっています。アンケートの意見からも情報提供についての意見が多々挙がっています。「施設設備について」では、満足 35%、どちらかといえば満足 26%、どちらかといえば不満 30%、不満 4%、その他 4%であり、ほぼ満足は 61%、「おおむね不満」では 34%の結果になっています。また、「年間の保育や行事に保護者の要望が生かされているか」については、満足 26%、どちらかといえば満足 5%、どちらかといえば不満 22%、不満 4%、その他 13%であり、おおむね不満は 26%を示しています。さらに、「自然に触れたり地域に関わる等の園外活動について」、「外部からの不審者侵入を防ぐ対策について」がそれぞれ、不満 13%、どちらかといえば不満 9%であり、おおむね不満は 22%という結果になっています。

●アンケートの主な意見では、園からの情報提供、子どもの様子の連絡・伝達について、園だよりの工夫について及び提案、先生（保育士）の表示方法、不審者対応（安全対策）、施設面について等が合挙がっています。それぞれに関しては園から説明、周知されていると思いますが、保護者からの意見、不満、要望等について受け止め、利用者の理解や協力につなげられるよう、日々の振り返りと見直しを図る機会を設け、園の良い点をさらに生かし、より一層の取り組みを期待いたします。

●総合的に、『満足』は 35%の支持を頂き、『どちらかといえば満足』は 57%、『どちらかといえば不満』9%であり、サービスの提供について、92%「ほぼ満足」している、と捉えることができます。

利用者調査項目（アンケート）

わかさと保育園

【保育園の基本理念や基本方針について】

上段%、下段人数で示しています

問 1

利用者調査項目		よく知っ ている	まあ知っ ている	どちらとも いえない	あまり 知らない	まったく 知らない	無回答
1	あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか。	30%	48%	17%	4%	0%	0%
		7	11	4	1	0	0
		賛同でき る	まあ賛同 できる	どちらとも いえない	あまり賛同 できない	賛同でき ない	無回答
2	あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	57%	22%	0%	0%	0%	22%
		13	5	0	0	0	5

【保育園のサービス内容について】

問 2 入園する時の状況について

		満足	どちらか といえば満足	どちらか といえば不満	不満	その他	無回答
3	見学の受け入れについては	35%	22%	0%	9%	35%	0%
		8	5	0	2	8	0
4	入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	22%	52%	9%	17%	0%	0%
		5	12	2	4	0	0
5	園の目標や方針についての説明には	26%	61%	4%	9%	0%	0%
		6	14	1	2	0	0
6	入園時の面接で、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	48%	39%	9%	4%	0%	0%
		11	9	2	1	0	0
7	保育園での1日の過ごし方についての説明には	30%	48%	13%	4%	4%	0%
		7	11	3	1	1	0
8	費用やきまりに関する説明については	52%	35%	9%	4%	0%	0%
		12	8	2	1	0	0

問 3 保育園に関する年間の計画について

9	年間の保育や行事についての説明は	61%	26%	4%	9%	0%	0%
		14	6	1	2	0	0
10	年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	26%	35%	22%	4%	13%	0%
		6	8	5	1	3	0

問 4 日常の保育内容について

「遊び」について

		満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	その他	無回答
11	クラスの活動や遊びについては (お子様が満足しているかどうか)	61%	22%	4%	0%	13%	0%
		14	5	1	0	3	0
12	子どもが戸外遊びを十分しているかについては	39%	35%	4%	9%	13%	0%
		9	8	1	2	3	0
13	園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に 使えるように置いてある、年齢にふさわしいかなど)	52%	35%	0%	4%	9%	0%
		12	8	0	1	2	0
14	自然に触れたり地域に係わるなどの、園外活動に ついては	35%	30%	9%	13%	13%	0%
		8	7	2	3	3	0
15	遊びを通じた友達との関わりや、保育士との関係に ついては	48%	43%	4%	0%	4%	0%
		11	10	1	0	1	0
16	遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みに ついては	43%	35%	4%	9%	9%	0%
		10	8	1	2	2	0

「生活」について

17	給食の献立内容については	78%	9%	9%	4%	0%	0%
		18	2	2	1	0	0
18	お子さんが給食を楽しんでいるかについては	61%	22%	9%	0%	9%	0%
		14	5	2	0	2	0
19	基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自 立に向けての取り組みについては	48%	35%	4%	0%	13%	0%
		11	8	1	0	3	0
20	昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されて いるかなどについては	57%	26%	4%	4%	9%	0%
		13	6	1	1	2	0
21	おむつはずしは、家庭と協力しお子さんの成長に合 わせて柔軟に進めているかについては	35%	30%	0%	4%	30%	0%
		8	7	0	1	7	0
22	お子さんの体調への気配りについては	70%	17%	9%	4%	0%	0%
		16	4	2	1	0	0
23	保育中にあったケガに関する保育者への説明やそ の後の対応には	48%	31%	9%	9%	4%	0%
		11	7	2	2	1	0

問 5 保育園の快適さや安全対策については

24	施設設備については	35%	26%	30%	4%	4%	0%
		8	6	7	1	1	0
25	お子さんが落ちついて過ごせる雰囲気については	39%	43%	13%	0%	4%	0%
		9	10	3	0	1	0

		満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	その他	無回答
26	外部からの不審者侵入に対する備えについては	39%	35%	9%	13%	4%	0%
		9	8	2	3	1	0
27	感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	39%	48%	9%	4%	0%	0%
		9	11	2	1	0	0

問6 園と保護者との連携・交流について

28	保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	22%	61%	17%	0%	0%	0%
		5	14	4	0	0	0
29	園便りや掲示などによる園の様子や行事に関する情報提供については	52%	30%	9%	9%	0%	0%
		12	7	2	2	0	0
30	園の行事の開催日や時間帯への配慮については	61%	35%	0%	4%	0%	0%
		14	8	0	1	0	0
31	送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については	22%	39%	26%	13%	0%	0%
		5	9	6	3	0	0
32	お子さんの関する重要な情報に連絡体制については	22%	57%	9%	13%	0%	0%
		5	13	2	3	0	0
33	保護者からの相談事への対応には	22%	61%	13%	4%	0%	0%
		5	14	3	1	0	0
34	開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	43%	35%	9%	0%	13%	0%
		10	8	2	0	3	0

問7 職員の対応について

35	あなたのお子さんは大切にされているかについては	52%	35%	9%	0%	4%	0%
		12	8	2	0	1	0
36	あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	48%	48%	0%	0%	4%	0%
		11	11	0	0	1	0
37	アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	26%	22%	0%	4%	43%	4%
		6	5	0	1	10	1
38	話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	43%	39%	13%	4%	0%	0%
		10	9	3	1	0	0
39	意見や要望への対応については	26%	48%	4%	13%	9%	0%
		6	11	1	3	2	0

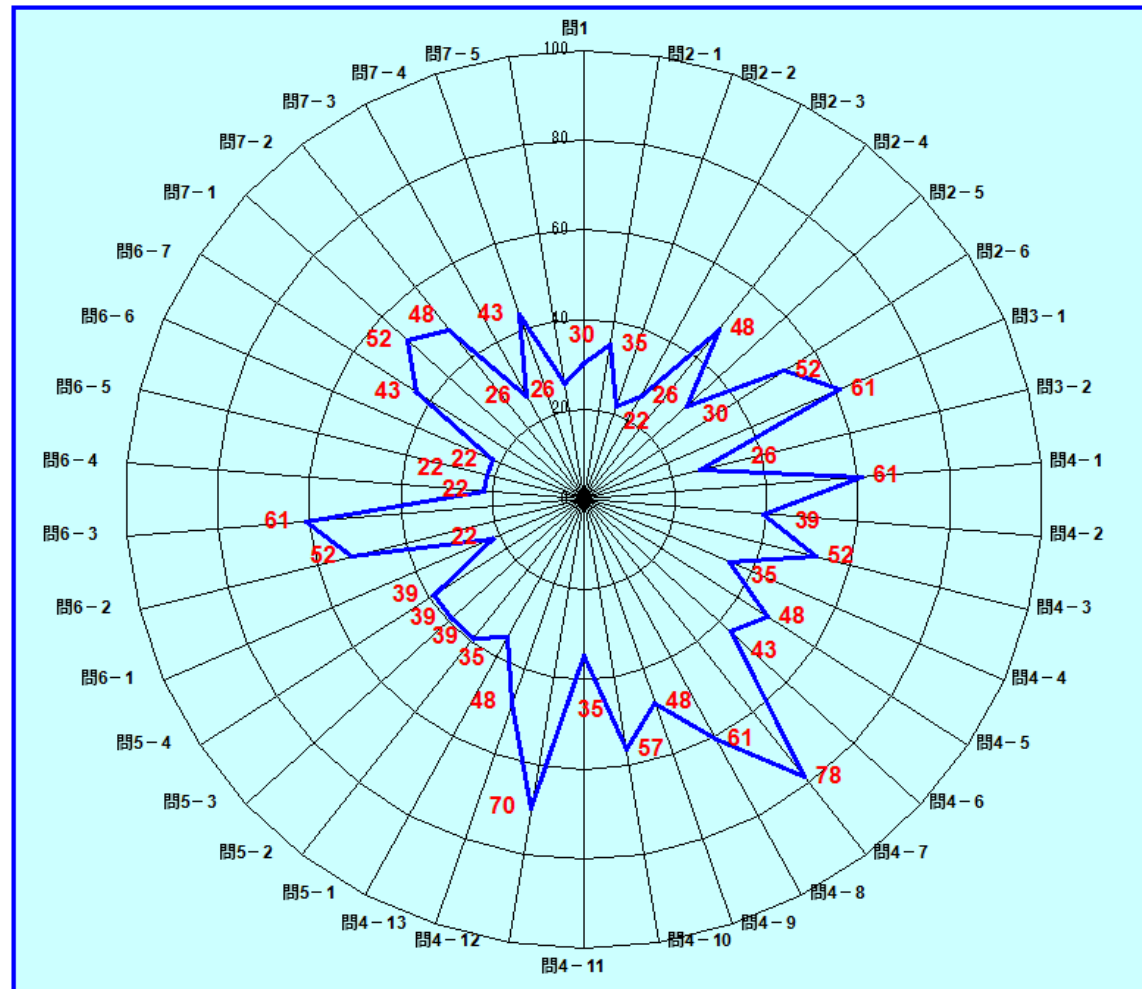
問8 保育園の総合評価

		満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	無回答
40	総合満足度は	35%	57%	9%	0%	0%
		35	13	2	0	0

保護者アンケート調査結果 (設問別「満足度」総合)

(注) レーダー数値は設問別「満足度」回答率 (小数点以下は四捨五入)

調査対象園舎: わかさ保育園	横浜市港北区綱島西 6-3-13
回答世帯数: 50 世帯中 23 世帯 <0 歳児(5 世帯)、1 歳児(5 世帯)、2 歳児(5 世帯)、3 歳児(4 世帯)、4 歳児(3 世帯)、5 歳児(1 世帯)>	
定員: 53 名	調査期間: 2017/05/23 ~ 2017/08/03



事業者コメント

わかさと保育園
園長 田中 良治

<評価に取り組んだ感想>

普段、意識していないところがあり、意識することができた。